

勉学の旗 (高須中学校だより)



平成28年9月9日号 高須中学校長 山口和久

2学期がスタートしました。

夏休みが終わり、9月1日に2学期始業式を迎えました。始業式や翌日2日の生徒の皆さんの様子を見て、安心しました。大きな事件や事故に巻き込まれることもなく過ごせたようです。それ以上に、いつもの通り、正門等で登校時のあいさつを交わしていると、明らかに1学期より笑顔であいさつをする生徒の皆さんが増えました。やはり、朝のあいさつは、互いに元気をもらえます。

また、始業式の話をしき姿勢が本当に素晴らしかったです。話をしき姿勢が素晴らしいので、始めと終わりの「礼」もきちんとできます。始業式後には、生徒会執行部から①夏休中に全市の小中学生代表参加で開催された「いじめ防止サミット」についての報告と、これについての会長の決意②体育大会のスローガン紹介③保健委員会から「熱中症予防のプレゼン」が行われました。プレゼンの時に、プロジェクターがうまく作動せず、数分間が空いたのですが生徒の皆さんは、きちんと待つことができました。また、発表の後には、自然と拍手が起こりました。



9月2日の課題考査時は、生徒のカバンが廊下に整然と並べられています。カバンの口が開いているものも、1学期に比べると格段に少なくなっています。私は、科学的な根拠は何もないのですが、「姿勢よく話をしきことができる」「自分の物の整理整頓ができる」と「学力」は関係があると、経験上感じています。「学力を上げたければ、下足箱の靴をそろえさせなさい。」という言葉は、教育界ではよく言われていました。



始業式で私は、「(リオオリンピックでの感動をたとえ話)に私たちが何か人の役に立つことをしたいですね。一生懸命やったことが自己満足で終わることはもったいない。」と話しました。

〔まっすぐ並び、顔を上げて話を聞く生徒達〕

また、「いじめ」についてもふれ、「いじめ防止サミット」の取組や本校先生方が夏休中に行った研修から、「大人も生徒の皆さんも大部分の人がこのことを真剣に考えている。決して君は一人ではない。ぜひ大人に相談してほしい。」と話しました。

こうやって、おだやかに2学期がスタートしていきました。また、体育大会の練習も始まり、校内も活気づいてきました。生徒の皆さんが、体育大会やその練習において、「やってよかったなあ」という達成感を感じ、「次はこんなことをやってみよう」というチャレンジする気持ちを持ち、さらに人間的に少しでも成長することのできる体育大会であることを期待しています。そして、何よりも、保護者の皆様が子どもたちを支えていただけたこと、また、本校の教育方針にご理解とご支援をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

〔保護者の皆様へお願い〕

- 体育大会の保護者向け案内は、すでに生徒を通じて差し上げております。体育大会当日やその前後で土・日・祝日に出校させたり、その代休を平日にとったりします。また、それにともなって、体育大会前後は給食ではなく、各自昼食を準備いただく日が何日かございます。ご確認ください。また、月行事予定表は、高須中学校ホームページにも掲載されています。
- 体育大会当日の、実施・中止は学校連絡メール「いっせいくん」での配信を基本とします。煩雑で、個人情報にとっても気をつかわなければならない「電話による学級連絡網」は、確実に使わない流れになっています。今後も、台風等による臨時休校や昼食持参の連絡など「いっせいくん」の利用が基本となります。登録がまだの方は、登録していただければとても助かります。「いっせいくん」の問い合わせにつきましては、高須中学校(TEL 741-2310)教頭先生までお願いいたします。

